

[様式1-2]

復活の異動願(届)

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿
下記のとおり願出(届出)いたします。

☐ 返還誓約書の機構送付(学校記入項目。送付済の場合は☒。返還誓約書を送付していない場合、本願(届)を作成できません。)

届出年月日	20	年	月	日
生年月日	西暦	年	月	日
学年		年		

学校名	立命館アジア太平洋大学	学籍番号	
学部・学科 (課程・研究科)		フリガナ	
奨学生番号	※併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号を記入。		氏名 (自署)
①	0	②	0

以下、該当する異動種別及び異動事由を☒で選択。太枠は必須。

記入者	☐ 【休止(通常の休学)からの復活】		
奨学生	復活の開始※ (大学院のみ選択可)	☐ 学籍上の日付 (☐ 卒業に合わせる)	※大学院以外のもので記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。 なお、大学院のもので未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
学校	休学日	20	年 月 日
	復学日	20	年 月 日
	卒業期	20	年 月 (見込)

※休止時に振込超過がある場合は、返戻が必要。

記入者	☐ 【休止(留学)からの復活】		
奨学生	復活の開始※ (大学院のみ選択可)	☐ 学籍上の日付 (☐ 卒業に合わせる)	※大学院以外のもので記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。 なお、大学院のもので未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
	復活希望年月※ 20	年 月	※海外留学支援制度・官民協働海外留学支援制度の受給者、及び学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者が適し復活を希望する場合のみ記入。その他の記入は無効。
学校	卒業期	20	年 月 (見込)
	国名		【留学情報】欄 記入上の注意
	留学時の身分※1	☐ 休学 ☐ 留学 ☐ 在学	※1 通常はいずれか1つに ☒ を付ける。 留学中に複数の身分が存在する場合は ☒ を付けず、 ☐ 内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。
	上記で選択した身分の期間※2	1. 20	年 月 日 ~ 20
		2. 20	年 月 日 ~ 20
	国費情報 (ある場合のみ) ※3	☐ 海外留学支援制度 ☐ 官民協働海外留学支援制度	※2 通常は1.に「留学時の身分」欄で ☒ を付けた期間を記入する。 「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に ☒ でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。
	留学奨学金継続願提出	☐ 有 ☐ 無	※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。
	第二種奨学金(短期留学)申請	☐ 有 ☐ 無	(注) 休止時に振込超過がある場合は、返戻が必要。

記入者	☐ 【休止(長期欠席)からの復活】		
学校	復活年月	20	年 月
	卒業期※	20	年 月 (見込)

※ 卒業予定期が長期欠席前と比べて延期している場合は復活不可。

記入者	☐ 【休止(長期履修学生の貸与先送り)からの復活】		
学校	復活年月※1	20	年 月
	卒業期※2	20	年 月 (見込)

※1 復活年月は奨学生本人が希望する任意の年月。
※2 「休止」時点から卒業期が延期していないことを確認。

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。
(学校の証明) 20

学 校 名 立命館アジア太平洋大学

関係課長(※) スチューデント・ワイルド課長 岩森 崇

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

電話番号(担当者名)	学校番号	区分
-	3 0 9 0 4 6	0 0
()		

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

最終振込年月	第一種: 20	年 月
	第二種: 20	年 月
振込超過	第一種:	か月
☐ 有 ☐ 無	第二種:	か月
要返戻金額	第一種:	円
	第二種:	円

提出先 異動・補導係	郵送の要否 必要	スカラAC入力 不要
---------------	-------------	---------------

「異動願(届)」の記入例「復活」

【 休止(通常の休学)からの復活 】

記入者	☒ 【休止(通常の休学)からの復活】		
奨学生	復活の開始※ (大学院のみ選択可)	☐ 学籍上の日付 (☒ 卒業に合わせる)	※大学院以外の者で記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。 なお、大学院の者で未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
学校	休学日※ 20 20 年 10 月 1 日	卒業期 20 25 年 3 月 (見込)	※休止時に振込超過がある場合は、返戻が必要。

● 休止 (通常の休学) からの復活の注意点

- ・奨学生本人の自署が必要。
- ・「復活の開始」は、大学院のみ選択可。
- ・「復活」可能な時期は、学籍日の翌月／月の初日はその月。

【 休止(留学)からの復活 】

記入者	☒ 【休止(留学)からの復活】		
奨学生	復活の開始※ (大学院のみ選択可)	☐ 学籍上の日付 (☒ 卒業に合わせる)	※大学院以外の者で記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。 なお、大学院の者で未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
学校	復活希望年月※ 20 年 月	※海外留学支援制度・官民協働海外留学支援制度の受給者、及び学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者が適及復活を希望する場合のみ記入。その他の記入は無効。	
	卒業期 20 25 年 3 月 (見込)	【留学情報】欄 記入上の注意	
	国 名 アメリカ合衆国	※1 通常はいずれか1つに ☒ を付ける。 留学中に複数の身分が存在する場合は ☒ を付けず、 ☐ 内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。	
	留学時の身分※1 ☒ 休学 ☐ 留学 ☐ 在学	※2 通常は1に「留学時の身分」欄で ☒ を付けた期間を記入する。 「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に ☒ でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。	
	上記で選択した身分の期間※2 (2. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日)	※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。	
	国費情報 (ある場合のみ) ※3	海外留学支援制度 ☒ 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 21 年 10 月 ~ 20 22 年 9 月	
	留学奨学金継続願提出	☐ 有 ☒ 無	
	第二種奨学金(短期留学)申請	☐ 有 ☒ 無	

● 休止 (留学) からの復活の注意点 (【留学情報】欄の注意点は「休止(留学)」と共通)

- ・奨学生本人の自署が必要。
- ・「復活の開始」は、大学院のみ選択可。
- ・「復活」可能な時期は、学籍日の翌月／月の初日はその月。

【 休止(長期欠席)からの復活 】

記入者	☒ 【休止(長期欠席)からの復活】	
学校	復活年月 20 22 年 1 月	卒業期 20 23 年 3 月 (見込)

● 休止 (長期欠席) からの復活の注意点

- ・奨学生本人の自署が必要。
- ・復活年月は学校が把握する通学再開の時期。奨学生本人の選択ではない。
例えば、1月から通学を再開した奨学生が長期欠席中の11月からの振込再開を希望しても認められない。
- ・卒業期が長期欠席前と比べて延期している場合は「復活」不可。
成績を理由とした「廃止」又は「停止」の認定報告が必要。
- ・長期欠席で休止した期間は、貸与期間に通算される。

【 休止(長期履修学生の貸与先送り)からの復活 】

記入者	☒ 【休止(長期履修学生の貸与先送り)からの復活】	
学校	復活年月 20 22 年 1 月	卒業期 20 23 年 3 月 (見込)

● 休止 (長期履修学生の貸与先送り) からの復活の注意点

- ・奨学生本人の自署が必要。
- ・復活希望年月は奨学生本人が希望する任意の年月。
- ・「休止」時点から卒業期が延びていないことを確認。